

実 用 新 案 公 報

昭38-20568

公告 昭36.10.4 出願 昭33.6.10 実願 昭33-29354
 考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町1 栗林写真工業株式会社内
 出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

(全2頁)

写真機に於ける距離計の移動レンズ枠揺動装置

図面の略解

第1図は距離計要部の平面図。第2図イは平板ばね平面図。第2図ロは移動レンズ枠取り付け個所断面図。第3図イは従来周知の移動レンズ枠揺動装置一例断面図。第3図ロ、ハは同全鏡揺動装置の略例断面図。第3図ニは同移動レンズ枠揺動装置一例断面図。

実用新案の説明

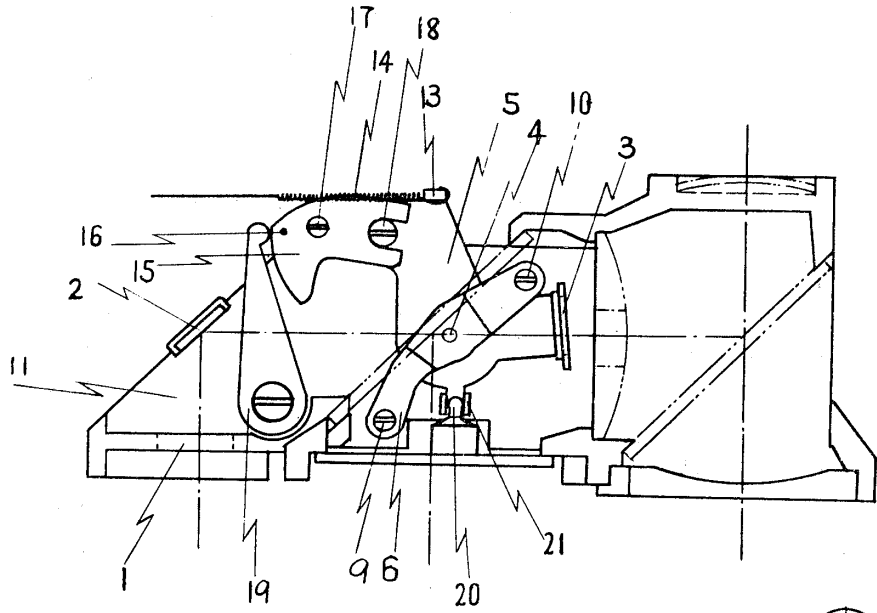
本案は写真機に於ける距離計の移動レンズ枠揺動装置に関するものである。写真機の距離計は被写体距離に応じて直視野系と測像系の入射光束を合致させるべく撮影レンズ部鏡胴と運動して測像系の入射光束角度を変更し測距をなす事は公知の方法であるが第1図に図示せる如く本案の用いる距離計も殆んど同種のものであって或る距離にある被写体の光束は距離計窓1より入射して全鏡2に依り反射され移動レンズ3に入る。移動レンズ3は鏡胴の前後運動と運動して軸4に対して旋回運動に依り入射光束角度を変更し測距する方法であるが本案は移動レンズ3が装着されている移動レンズ枠5を簡単な部品の配設に依り円滑にかつ確実な旋回作動なさせしめんとするのが目的である。6は瓢箪型の平板ばねで両端の長透孔7, 8をビス9, 10で距離計地板11に固着し平板ばね6に植着した円錐状のボス12を移動レンズ枠5の旋回軸孔から地板11の旋回基準孔に臨ませ移動レンズ枠5を揺動自在に挟着し立起部13とボデー本体を結ぶ発条14によって左旋回の習性が与えられ移動レンズ枠5の一部は調節板15が串16に依って止められたビス17で固着されているが偏心ビス18に依って串16を軸として任意に位置を変更される様に構成されている。移動レンズ枠5は左旋回の習性で鏡胴の前後運動を伝える運動カム19に常に圧接して又曲折部20は輪劃板21の屈曲片に係合する。今任意の距離に於ける被写体を測距するに当り公知の如くヘリコイ

ドレバーを回動する事に依り鏡胴を移動せしめこの運動を運動カム19で圧接する調節板15の側面を摺動して移動レンズ枠5を旋回せしめるが従来移動レンズ3を旋回させる軸構造は第3図イに示めす如く上下二点の旋回支点で旋回軸を支えているもの及び第3図ロ、ハ、ニ等々に周知の機構は複雑な部品構成をなしており距離計地板11上に於ける移動レンズ枠5の軸芯の位置の配設は微細な誤差を伴い易く従って複雑な調整を必要としこの構造に基因して生じ易い移動レンズ5の軸芯部の遊隙及び微細な偏心に依る旋回軸芯の傾斜に依り測像系の光束に微小な誤差を生じせしめる場合があるがこの欠点を防止することが肝要であり本案はこの目的に副われるが為め上述の如く構成している。即ち本案に於ける移動レンズ枠5の旋回方式はこれまで多用されている公知の方式を全面的に変へ第2図ロに図示する様に平板ばね6の弾性により円錐ボス12で移動レンズ枠5を挟着し円錐ボス12先端軸を距離計地板11の旋回軸基準孔に臨ませ一点の旋回支点として規定位置に移動レンズ枠5を挟着するがこの様に間接的に平板ばねの弾性に依り移動レンズ枠5を挟着しているためその旋回も円滑で遊隙も防ぎ同時に移動レンズの旋回芯を規定位置に配設し調整の手数を除き三窓式の要部々品例えば輪劃板21及びチャート反射用表面鏡の收容も可能ならしめ構造は極めて簡単で従来の写真機に容易に装着出来実用上有益である。

実用新案登録請求の範囲

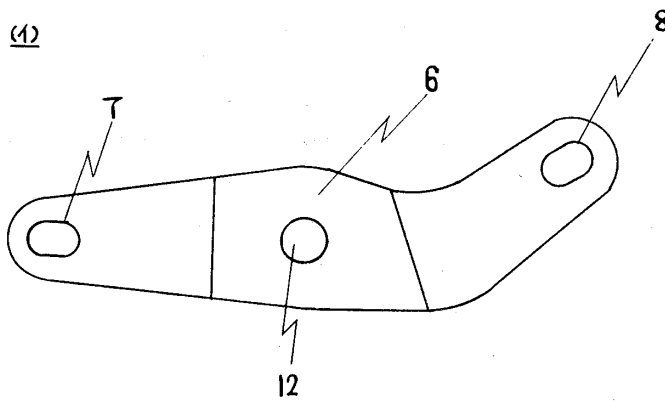
図面に示めす如く平板ばね6に先端軸を持つ円錐ボス12を固着して円錐ボス12の先端軸は移動レンズ枠5軸孔を貫通し距離計地板11の旋回基準孔に嵌入させ平板ばね6をビス9, 10にて距離計地板11に固着させ移動レンズ枠5の旋回軸を規定位置で挟着する如くした写真機に於ける距離計のレンズ枠揺動装置の構造。

第一圖

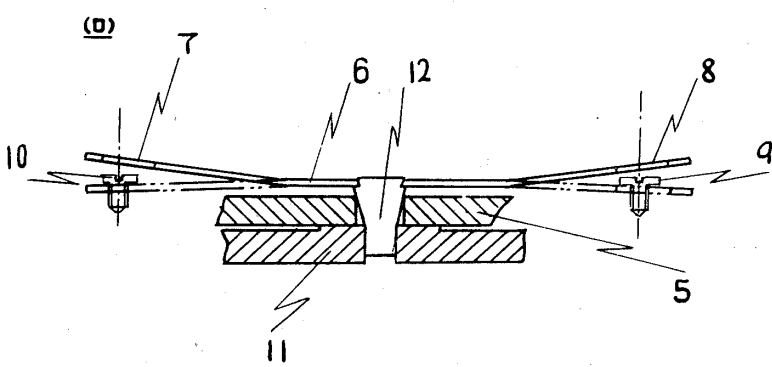


× = 四

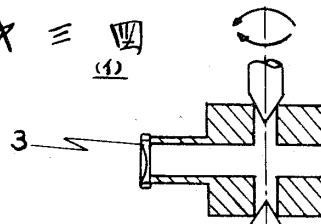
(1)



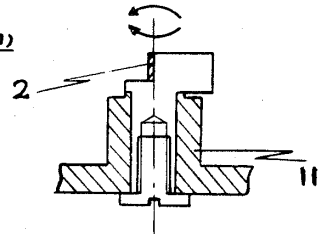
(2)



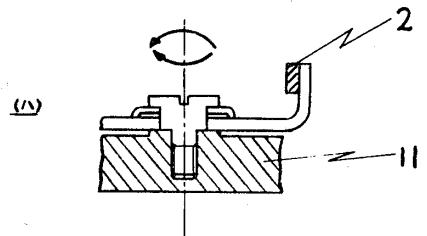
× ≡ 四
(1)



(2)



(3)



(4)

